

EPA・農業ワーキンググループの検討項目(案)

(1) WTO/EPA

貿易、サービス、投資などの活発化により我が国の生産性向上を図ることが重要である。WTOへの貢献も含め、スピード感のある中長期的なEPA戦略について具体的に検討する。

- ① EPA締結の直接メリット(日本企業の活動、消費者利益)、間接メリット(政治的・経済的関係の深化)、コストについてどう考えるか。
- ② EPA締結の相手国の選択はどのようにあるべきか。
- ③ 複数国間のEPAの構築にどう取り組むか。
- ④ WTO/EPAで日本が積極的な役割を果たすにはどうすればよいか。

(2) 農業改革

我が国の成長力を強化するためグローバル化改革を進めるうえでは、農業改革が重要である。国境措置に依存しない競争力のある農業の確立のため、以下について具体的に検討する。

- ① 国境措置の削減もしくは合理化による生産者へのデメリット、消費者へのメリットについてどう考えるか。過去の農産物貿易自由化による影響についてどう評価するか。
- ② 担い手への支援集中をいかに効果的に行うか。農地の集約・効率的利用の促進に向けてどのような改革が必要か。また、これまでの農業改革による生産性向上効果をどう評価するか。更なる生産性向上、輸出できる農業の確立のためにはどのような改革が必要か。
- ③ 国境措置の削減及び合理化と、農業の生産性向上を同時並行的に加速することはできないか。